

かんてつ 通信 貫徹

発行責任者：藤沢市議会議員 おおや 徹

9月 定例議会報告



発行日
2018年10月【第36号】
発行者
大矢 徹（おおや とおる）
連絡先
藤沢市鶴沼藤が谷 4-17-5
～302
【自宅】0466-47-8255
【携帯】090-8850-6062
【メール】ohya.toru@gmail.com
ホームページ
<http://www.ohyatoru.com>

9月藤沢市議会定例会が、9月3日から10月10日までの日程で開催されました。

主な内容は、工事請負契約の締結について（藤沢市分庁舎整備工事）、損害賠償額の決定、平成30年度藤沢市一般会計補正予算、平成29年度決算認定などです。

私は、市側が提案した全ての議案に賛成し、可決されました。ただし、決算の認定は、継続審査となりました。

新しいキャッチフレーズにしました！

これまで「全国に誇れる藤沢市をめざして」というフレーズでしたが、もう少しシンプルにして

徹する力。

としました！これからこのフレーズを入れたのぼり旗を立てて、議会報告を配布していきます。見かけたら気軽にお声かけください！

1. 村岡地区のまちづくりについて

平成29年度に実施した「新駅設置により藤沢市、鎌倉市が受ける便益の検討」及び「村岡地区、深沢地区を一体的に整備した場合の事業性の検証等」の検討調査が報告されました。

便益の算定では、駅整備による直接効果や経済効果、間接効果を含めて、藤沢市が年額約53億円、鎌倉市が約56億円と算定されました。一方で、費用負担は、一体整備による藤沢市分として約27億円、新駅設置費用として約90億円、そのほか、シンボル道路や橋りょうの整備にも費用がかかると想定がされています。

藤沢市としては、今回の調査結果をもとに、神奈川県、藤沢市、鎌倉市の新駅整備費用の負担について協議を整え、一体施工を前提とした新駅設置要望をJR東日本に行った上で、概略設計を行い、その結果を踏まえて事業実施の最終判断を行うとしています。

2. 空調未整備の小学校へエアコン整備

近年の猛暑に対応するため、空調未整備の小学校8校（藤沢・鶴沼・大道・鶴南・俣野・滝の沢・大鋸・大清水）の普通教室にエアコンを整備し、全校への設置を完了する補正予算を組みました。これにより、来年6月からエアコンが使用できます。同時に窓も開けられず劣悪な環境となっていた給食調理室へのエアコン設置も確認されました。この間、私は訴えてきた給食調理員の熱中症課題もようやく一定解消されることとなり、ほっとしています。

3. 学校給食費の改定について

食材費の高騰により食材変更や献立の工夫では給食提供が困難な状況となったことから、今後来年の4月より次のとおり学校給食費を引き上げる予定であることが報告されました。

対象	現行	改訂後
小学校・白浜養護学校（小学部）	月額 4,100円	4,500円
白浜養護学校（中・高等部）	月額 4,800円	5,200円
中学校給食（デリバリー 普通盛）	一食 300円	330円
中学校給食（デリバリー 大盛）	一食 380円	400円

4. ごみ屋敷対策条例制定を求める陳情が主旨了承

社会問題化している「ごみ屋敷」の対策条例を早期に制定することを求める陳情について、藤沢市は、「横須賀市で行われた行政代執行は最終手段であり、地域での孤立化を解消しなければ根本的な解決にはならない」との考えを示しましたが、全会一致で主旨了承となりましたので、条例化に向けた検討が庁内で進められることとなります。

私の考え

「ごみ屋敷」問題について、これまでの間、実態、背景、苦情内容等が一切議会において議論されていない中で、今回の陳情の結果で条例化に進む形になることには疑問を感じます。

5. 浜見保育園アスベスト事案に対する対応について

昭和47年4月に開所した藤沢市立浜見保育園の天井の一部にアスベスト含有材の吹付けによる仕上げがされていたことから、平成19年8月に完全除去されるまでの間、アスベストの飛散の疑いが生じています。

藤沢市石綿関連疾患対策委員会からの最終報告書を受け検討した結果、以下の対応が図られます。

- アスベスト関連疾患を発症した当時の園児に対して、本事案に起因性がある場合は、治療費・休業補償・葬祭費・弔慰金及び、遺族補償を支払う（対象外あり）。
- 本事案に起因性が認められなかった場合でも他の発症原因が考えられない場合には、給付金として100万円を支給する（対象外あり）。
- アスベスト関連疾患の発症の有無に関わらず、一律の金額で支給する見舞金の制度を設ける（対象外あり）。

私の考え

今回の対応は対象が園児のみであり、保育士への対応は未定です。保育士も補償等について区別すべきでないと考えます。

6. 平成29年度の藤沢市財政状況

地方公共団体の財政の健全化に関する法律により、毎年度議会に報告、公表するもので、結果は次の通りです。

項目	説明、数値（平成29年度）		
実質赤字比率	一般会計等を対象とした実質赤字額の標準財政規模に対する比率		
	早期健全化基準	本市の状況	状態
	11.25%以下	-8.38%(黒字)	良好
連結実質赤字比率	一般会計を対象とした実質赤字額または資金不足額の標準財政規模に対する比率		
	早期健全化基準	本市の状況	状態
	16.25%以下	-20.58%(黒字)	良好
実質公債費比率	一般会計等が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率		
	早期健全化基準	本市の状況	状態
	25.0%以下	1.2%	良好
将来負担比率	一般会計等が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率		
	早期健全化基準	本市の状況	状態
	350%以下	44.9%	良好

また、下水道事業費特別会計資金不足比率を参考までに算定すると-22.0%、市民病院事業会計資金不足比率は-30.3%で、ともに経営健全化基準（20.0%以下）を大幅に下回っており良好な状態です。

今後、11月22日に予定されている行革等特別委員会で、新たな中期財政フレーム（前回545億円不足と算定）が示される予定ですので、この健全化指標との関係について精査していきたいと思ひます。

7. 不適切な事務処理について議員全員協議会を開催

9月27日の本会議終了後、議員全員協議会が開催されました。8月29日の一般質問で明らかになった非常勤職員等の報酬・賃金支払いの遅延について、状況の報告および今後の対応について、市側から説明を受けました。

内容としては、非常勤職員への報酬等の支払い遅延について、総合計398件、9,174,930円の遅延があり、その対象内容、遅延理由が記載された一覧表が示されました。また、今後の対応として、(仮称)内部統制庁内推進委員会を立ち上げ、全庁調査の結果をもとに検証・分析を行い、対応策をまとめ、速やかな対応を図るとしています。さらに、管理体制の強化として、庁内組織の整備を検討するとのことでした。

私の考え

平成12年度の組織改正で、部長中心主義に変更し、部門総務課を廃止して調整課にしました。当時私は市の職員でしたが、このことにより、権限が平等化された反面、責任の所在が不明確となった部分もあったと感じています。

総務機能は平成21年度の組織改正により、一定の権限の付与がされていますが、以前のような総務課とは言えません。

学校給食費の私的流用の問題をはじめとした不祥事、不適切事務、議会ごとに行われる資料の訂正などをみていると、当時(平成12年度以前)の部門総務課があれば、一連の問題は未然に防げたのではないかと思います。

内部統制の徹底、職員の意識改革等の対応もまた業務量の増に繋がります。当時のような総務課を復活させるなどの対応が必要と考えます。

8. 藤沢市初、決算認定を先送り

決算委員会の最終日、例年なら質疑を終え、一般会計ほか9特別会計の認定について、採決をするところ、委員から、「慎重に審査する必要があるため、継続審査とされたい」との動議が出され、議員間討議を経て採決、全会一致で継続審査となりました。

一連の不適切事務に対する市側の調査・原因分析・対応策について、10月末を目途に報告がされます。市側の報告を踏まえ、改めて決算特別委員会を開催し(日時未定)、審査をした上で、認定の是非を委員会として決めることとなります。

私の考え

藤沢市議会として決算認定を先送りした前例はなく、私も初めての経験ですが、決算書の内容・数値が実態と合致していることを前提に審査をしていますので、今後、このようなことがないよう、適正な事務執行を願う一方で、不適切事務が人員不足や組織の事情によるものなのかを検証する必要があると思ひます。

屋メシ 放浪記



晴れる屋
～味噌ラーメン～

夏が過ぎ、秋・冬へ季節が変わっていくと、ラーメンなど温かいものが食べたくなります。今回は、私の好きな片瀬の洲鼻通にある「晴れる屋」の紹介です。このお店は、つけ麺が人気ですが、私が好きなのは「味噌ラーメン」。是非食べてみて下さい。

おおや 徹ホームページのご案内

時事問題や趣味の食べ歩きを活かしたコラムなど、写真も多く掲載しながら書き綴っています。ダイエット企画「大盛り・セット食べません」シリーズも継続中。こちらの進捗も期待してください。議会情報も素早くアップしています。是非ご覧ください！

おおや 徹

検索



クリック!



QRコード